

我等は第七回大會に於て、首切労働強化並待遇低下絶對反對の件を可決して、荒れ狂ふ資本の攻勢に對する準備と固き決意を以て本年度の行程に入つたのであつた。果然若槻民政黨總裁を主班とする資本家は没落に傾ける資本主義必然の所産たる歳入減(赤字)の補填策として、再び行財政整理を強行して總額一億二千萬圓程度を捻出する方針を立て、逕信豫算に對しても二千拾三萬圓程度の削減、一萬五千人餘の首切りをなさんとしたのである。

十月四日斯る無藝極まる大藏當局の方針が發表されたので本會執行部は直ちに所属全支部に指令し斷乎たる態度を以て反對運動を開始した。先づ資本家政府の採る斯る政策に對する正しき見解を組合員大衆に理解せしめ、反對運動の正當性を部内全般、特に現業局幹部に徹底せしむる爲めの職場大會の統一的問題、更に一般民衆の本問題に對する理解を深める爲めの演説會、又或は反對運動の全國的統一化への爲めの署名運動等々を以て部内大衆の意志を、政府當局に平直に反映せしむる爲めの大衆的街頭運動等を効果的に展開した。

我等が果敢なる闘争は逕信部内全般の猛烈なる反對氣勢となつて、遂に政府當局を譲歩せしめ、現業二分に喰止むる事を得た。

然し乍ら二分整理に依る犠牲者は依然として我等が兄弟の中から出さねばならぬ定員減が今春二月より實行された。これに對しても我等は組織的威力を以て闘争し、我等が同志の生活權を完全に守り續けた。

斯る資本家政府の暴政の前に哀れを止めたのは御用組合に敗隔され來つゝ従業員大衆である。彼等御用幹部は遺憾なく其の無力振りを發揮して欺瞞的本性を大衆の前に暴露し、ピラ宣傳を事とする極左ルンペンの分子と共に我等が果敢なる實力的闘争の前に全く克服された。

次に今年度中に於ける首切労働強化反對に關する豫算削減反對、定員減反對の闘争記録を誌す事とする。

1 豫算削減反對闘争

職場の決議を以て政府當局に抗議

政府當局の行財政整理方針が逕信部内の實狀を無視し、事業の根本の本質をも破壊して省みざる暴案である事を見る

破した本會執行部は三日支部長會議を召集し、逕信部内人員整理反對の根本方針を確立し、次の如きスローガンを中心として、職場々々の特殊事情に基く要点をこれに附帶せ

しめて五日前十時を期して各職場に於て一齊に職場會議の開催を先づ指令した。

昭和六年十月五日

日本労働總同盟連 同志會

人員整理絶對反對、公共性を破壊する逕信事業縮小絶對反對、逕信事業を特別會計として事業の公共性を護れ、勤勉手當並に諸給與減額絶對反對

右指令に基いて各職場に於ては五日十時を期して一齊に効果的なる職場大會は開催された。此の職場大會は決議を以て、反對決議を局長に提出し、其の回答を迫ると同時に代表二名を擧げて、大藏省並逕信省を訪問抗議せしむる事とした。

更には

更に逕信大臣と會見

職場より選出された各二名宛の代表總員五十二名は本部に集合し十二時之等代表者の會議を開き、左の如き決議を可決した。

十二日前十一時本會當主事、高地、森本兩執行委員の三名は、豫算編成經過を質すべく逕信省を訪問し、小島大臣、大橋事務次官平川參與官、猪熊官房保健課長と會見し、先づ當主事より「新聞の報ずる處に依れば逕信省は豫算節減に關する省議の決定を見て、非現業の節減は可能なるも現業は二分を固執する等とあるが果して事實なりや」の一事實とせば我等従事員は既に前回大官と商榷の旨主張せる如く、現狀以上の整理の地なく事業の公共性を擁護する意味からも、又失業問題の深刻なる折柄部内雇傭人殺より犠牲者を、名たりとも出さざる様努力された」と述べ

るものである。政府は宜しく逕信省の如き公共事業官廳豫算は特別會計制度として其の事業の圓滿なる發達を期し歳入財源は資本家に對する増税に求む可きである、政府當局の猛省を促す